

# 重要なお知らせ

拝啓

支援者の皆様へ

いつも温かい応援、お祈り、ご支援を心から感謝します。私は2008年3月に、勤めていた豊橋市役所を退職し、同4月から日本国際飢餓対策機構のスタッフという立場で、キングダム・コンソーシアムの働きに携わらせていただけてきましたが、このたび、日本国際飢餓対策機構の財団法人への移行に伴い、同団体のキングダム・コンソーシアムという部門で携わらせていただけてきた働きを、新たな活動母体で行うように導かれています（詳しくはプレイヤーレターを参照ください）。新団体の代表者は神田英輔（元日本国際飢餓対策機構総主事、特別顧問）で、私を含む少人数のスタッフで活動を開始させていただく予定です。（Disciple Nations Allianceをはじめとする海外の団体とのパートナーシップは、新団体移行後も継続されます。）

これまで私の生活費および活動費の一部は、日本国際飢餓対策機構に入金された皆様からの善意の献金によって支えられてきましたが、今後は新しく設立させていただくNGO「声なき者の友の輪」が活動母体になります。私自身の活動につきましては、これまでと同様のビジョンと情熱、方向性を持って「神の国の貢献」をさせていただきたいと願っています。

これまでと同様に陣内俊の活動をご支援くださる方は、今後は下記の口座にご入金くださるようお願いいたします。（vol.13以降のプレイヤーレターに振込用紙を同封させていただきます。以前の振込用紙で日本国際飢餓対策機構の指定献金にご入金されても陣内の活動支援には充てられませんのでご注意ください。）当方の都合により皆様にご迷惑とお手数をおかけします事を深くお詫びし、変わらず支援くださる皆様のお心に心から感謝いたします。

敬具

2010年4月1日

陣内俊

## 【新支援口座(振替)】

口座記号番号:00830-1-142825

口座名称:陣内俊を支える会

\*振替でない口座番号(ゆうちょ銀行から手数料無料)は、prayer letter vol.13に掲載させていただきます。



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2010年4月-5月号

Vol.13

\* 今回のプレイヤーレターは重要なお知らせを含んでいます。支援者の皆様は最後まで御一読くださいますようお願いいたします。皆様のお祈りとご支援に感謝して。 一陣内俊を支える会一同

## 支援者の皆様へ

### 新しい団体について

支援者の皆様、こんにちは。いつも温かいお祈りとご支援を心から感謝します。巻頭の手紙でもお知らせしたとおり、私はこれまで2年間働いてきた日本国際飢餓対策機構を退職し、2010年4月1日より新しい団体「声なき者の友の輪 Friends with the Voiceless International (F V I)」の一員として活動させていただくことにいたしました。個人的に親しくお交わりさせていただいている方々には、(伝えられる範囲で)以前から部分的にお伝えしてきましたが、皆様の中には突然のお知らせとなってしまう方も多いかと思えます。本来ならば直接会ってお伝えすべき内容をこのような形でさせていただく失礼をお許してください。

日本国際飢餓対策機構からは大切な多くのことを教えられ、また多くの得難い出会いも与えられて来ました。しかし同団体の財団法人への移行に伴い、3月31日付でスタッフを一旦全員退職扱いとし、新財団法人での再雇用を希望する場合は献身を表明する書面の提出を求められました。私は個人的に神に導きを求め、信頼する方々と相談してまいりましたが、新財団法人の枠組みの中ではこれまでと同様の働きを続けて行くことが困難であると判断し、今回の決断に至りました。(今回の事態を受け、働きの中核をなしてきた十余名のスタッフ(国内スタッフの約半数)が働きの継続を望まず、離職いたしました。現在の超就職氷河期にあつて、神の前に信仰の決断をしたスタッフ一人ひとりの今後のためにもお祈りいただけると感謝です。)

これまで約2年間、このプレイヤーレターを通して紹介させていただいてきた、「日本、世界に神の国が来ますように」(マタイ6:10)という祈りと小さな貢献を皆様と共にしていきたい、という私の願いは変わっていません。新しい活動母体である「声なき者の友の輪」は数名の発起人、スタッフは代表の神田英輔と私の2名での本当にささやかなスタートです。これから加わってくれる人々を期待していますが、現段階ではまだ事務所もない状態です。「小舟で太平洋に漕ぎ出す」というのが当事者の正直な感覚で、少し恐ろしくもあります。しかし、私たち以上にそのビジョンの実現を願っておられる神様が背中

を押してくださるのであれば、私たちの「からし種のように小さな信仰の一步」を、神が「樹」へ、そして「森」へと成長させてくださることを信じています（マルコ 4：31-32）。皆さまのお祈りと神の助けがなければ、何一つ成し遂げることができません。この小さな一步を神が価値あることのために用いてくださるよう、お祈りいただきますよう、心よりお願いいたします。新団体のホームページ、リーフレットなどが完成しましたら皆様にお知らせいたします。ご支援くださる皆様に、当方の都合によりご迷惑とお手数をおかけしますことを、重ねてお詫び申し上げます。今後も陣内俊の働きを応援くださる皆様に、心から感謝いたします。

\*からし種とは、北米、地中海、中東に生育するブラック・マスタードの種で、大きさは約 0.5mm、重さは約 1mg（1グラムの 1000 分の 1）ほどの大きさ。イエス様は「小さいが、成長すると、どの野菜よりも大きく（3メートルを超える）なる」と、福音書の中で信仰や神の国のことをからし種に喩えておられる。

## 活 動 報 告

### 各地での奉仕（2010年2月～年3月）

皆様のお祈りに支えられ、2月、3月も様々な場所で奉仕させていただき、多くの素晴らしい出会いが与えられました。お祈りくださった方々と関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

月日	奉仕内容	場所
2月7日	礼拝説教／リーダー訓練会	清瀬グレースチャペル
2月10日-12日	JCMNサミット（グループタイム 愛の筋トレ）	全日空ゲートタワーホテル（関空）
3月14日	礼拝説教	信愛教会（豊川）
3月21日	礼拝説教	練馬グレースチャペル
3月28日	礼拝での証（神田師の説教）	武蔵野福音自由教会
3月28日-31日	みどり野キリスト教会（横浜）ユースキャンプ奉仕	長野県・聖山高原チャペル
3月31日-4月3日	IFJ キャンプ奉仕	大阪府立少年自然の家

### 日本国内における全人宣教の取り組み（第三回）

Vol.10-11号で、国内全人宣教の「江古田家庭訪問」の取り組みを紹介いたしました。今号では、沖縄県久米島の「希望が丘キリスト教会」の取り組みについて紹介させていただきます。

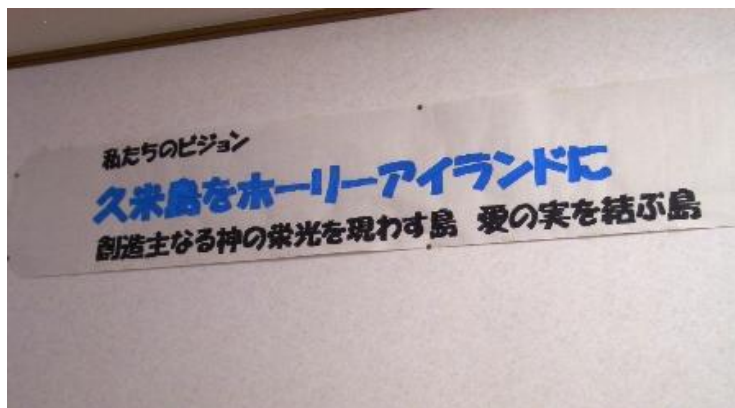
江古田家庭訪問と同様、すべての地域、および地域教会にユニークな必要と神の御計画があります。ですからイエスの愛を「見える化」する際には、聖霊の導きに従う事が最も肝要であり、他の地域や個人の実践と同じことをすることが大切なのではありません。しかし、私たちは日本や世界の他の地域や「御国のチームメイト」の経験から原則やアイデア（着想）について学ぶことが出来るはずですし、また神からそれを期待されていると思います。今回は久米島の事例から学ぶことのできる原則とアイデアについて分かち合わせていただきます。

### 久米島をホーリーアイランドに【前編】

久米島の人口は約 8800 人、日本の他の場所では経験できないような、ゆったりとした時間の流れに心癒される美しい島です。しかし同時に、以前は 24,000 人以上いた人口は減りつつあり、特に若者の減少は深刻です。日本の他の農村地域と同様、家族、地域の間人関係の希薄化、高齢化などの問題を抱えて

います。

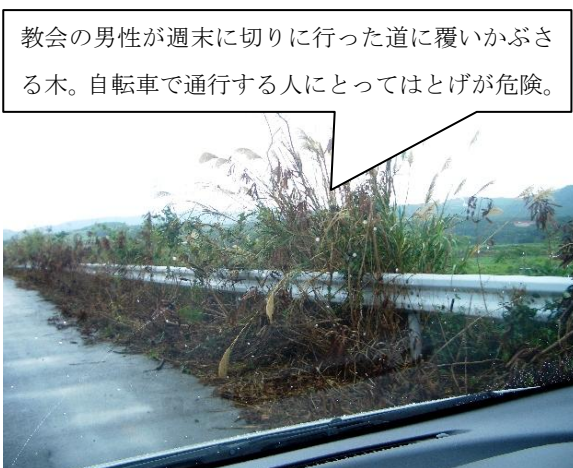
東京の神学校を卒業された木下康子先生が、現希望が丘キリスト教会（沖縄バプテスト連盟）をスタートした 35 年前、東京から沖縄に向かう船上で、「久米島をホーリーアイランドに」というビジョンを受け取り、今日に至るまでそれを教会のビジョンとして掲げています（写真）。週報には、「～私たちのヴィジョン～『教会がなければ、島が成り立たない』と言われる存在になろう。地域に根差し、仕え、愛される存在になろう。」と書かれています。



昨年 12 月 10 日～14 日に、神田師と私は教会で 4 セッションの「ビジョン・カンファレンス」を実施させていただきました。神の国の視点について分かち合う中、「久米島がホーリーアイランドに」が 100% 達成された状態はどのような状態か具体的に想像していただき、行動のチャレンジをさせていただきました。その中で私が驚かされたことは、木下先生夫妻はじめ、教会の方々が「地域」という視点を持って自ら考え、祈り、行動することが日常的に出来ている、ということでした。

8 名が出席したビジョン・カンファレンスの木曜夜のセッションで私は、「愛の行動の 3 ステップ」を紹介し、「身近な人の必要を見つけ、計画を立て、行動する。この一連の「基本動作」を、日曜日の午後までにやってきてください。そしてここで報告会をしましょう。」と教会の方々に提案しました。そこにいた全員が「愛の行動の 3 ステップ」を実践し、日曜日の午後に報告してくださいました。以下に報告会での「愛の行動」の実例を紹介します。

- 必要がわからなかったので、区長さん（50 世帯弱）のところに、必要を聞きにいった。結果、遠慮された。「作業はもう全て終わった。道には除草剤をまいてある」とのこと。その道には除草剤では死なない木があることを思い出し、木を切りに行った。金曜日と土曜日に作業し、6 メートル進んだ。（全部で 200 メートルある。）年に三回作業が必要だが、続けて行きたいと考えている。【70 代男性】
- 以前親しくしていたが最近足が遠のいていた方の家に、手土産を持って訪問した。（その時はデイケアに行っていて留守だった。）これからはもっと訪問するようになりたい。話し相手になりたい。【70 代女性】
- 小さいことからやっていく、ということを知り、気持ちが楽になった。祈りながらタコ漁に行った。（普段この季節にはあまり撮れないはずのタコが五匹捕れた。）夜それを煮込みお昼の愛さん会に出品した。また、従弟の方が、身内の不幸により精神的に落ち込んでいて、ひきこもっていることを思いだし、電話してからタコを二匹とジュシー（炊き込みご飯）と冬瓜を持って行き、渡した。その方は「いただきます」と喜んでくれた。【40 代男性】
- 年配の従兄のところ（孤立しがちで体調が悪い）に、なかなか行くことができずにいた。（1 年近く）朝訪問してみた。奥さんと世間話をする事が出来た。一週間に一回でも、話を聞いてあげることは必要だと思った。【40 代男性】



- 勤めている学校では教師が交代で校内を巡回する。そのとき、校舎の裏にゴミがたくさん落ちていることに気がついた。昼休み（40分）の中で時間をつくり、ゴミを拾う計画を立てたが、午前中体調を崩してしまい、実施は無理かと思われた。しかしある出来ごとを契機に、金曜の午後に教員たちとともに校舎の裏のゴミを拾うことが出来た。【40代女性】
- 祈ったとき、同級生の方の顔が浮かんだ。がんで胃を摘出した男性。少しずつ食事を取っている。栄養価が高く、消化が良い、「チモシンジー（レバー入り）」スープを作って届ける、という計画をした。しかし、祈ってみた結果「やはり第一歩は訪問し、必要を知ること」と思い至った。訪ねてみると、その方はスープを作って食べるころだった。玄関先で話をした。身体のためにお祈りするね、といったら、感謝してくれた。【60代女性】

木曜日のチャレンジから日曜日午後の報告会まで、72時間以内に、以上のような「愛の行動」を一人ひとりが実践してくださいました。私はひとつひとつの小さな愛の行動の実践の中に、神様の御手を観ることが出来たような気がして感動を覚えました・・・

次号【後編】へ続く

## 祈りの課題

- ◇新しい働きを、神が導いてくださるように。神の願いを受け取り、忠実に遂行していくことが出来るように。
- ◇良き出会いが与えられるように。
- ◇霊的側面、健康面、経済面など様々な面で支えられ、活動が持続できるように。

## 今後の予定

月日	内容	場所
4月9日-10日	地域変革セミナー	みどり野キリスト教会（横浜）
4月17日-29日	地域変革セミナーと全人宣教研修	グレースコミュニティ（札幌）
5月16日	セレブレーションメッセージ	B-1チャーチ（大阪）
5月24日-6月前半	ボブ・モフィット師ら（DNA）と会合	アリゾナ／カリフォルニア（米国）
6月20日	全人宣教セミナー	伊那福音教会（長野県）
随時継続的に	国内啓発活動、フォローアップ	国内各地

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

Email [shunjinnai1128@yahoo.co.jp](mailto:shunjinnai1128@yahoo.co.jp) ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

\*これまで中野区にあった「日本国際飢餓対策機構東京事務所」は閉鎖され、これまで東京事務所で働いていたスタッフが全員退職したため、陣内の連絡先としては上記のメールアドレスに直接ご連絡くださるようお願いいたします。（これまでのメールアドレス [sjinnai@jifh.org](mailto:sjinnai@jifh.org) は無効になりますので email は上記 yahoo のアドレスに送信してください。）

## 支援のための献金方法

これまで飢餓対策機構を通して支援して下さった皆様に、心より感謝いたします。

今後も陣内俊の働きを個人的に、また教会や団体として支援して下さりたい方は、以下の手順を踏んでいただきますようお願い申し上げます。当方の都合で皆様にご迷惑をおかけします事を深くお詫びします。

### 1 これまで郵便局自動振り込みを利用してきて下さった方

これまで自動引き落としでご支援して下さった方、ご支援を心から感謝します。陣内支援を続けてくださる方は、下記連絡先までご一報ください。ただちに必要な書面を郵送させていただきます。お手数をおかけします事を心よりお詫び申し上げます。

■陣内俊を支える会 shunjinnai1128@yahoo.co.jp

### 2 これまで振込用紙を用いてご支援してきて下さった方

2010年4月1日以降は、日本国際飢餓対策機構「陣内指定」へ献金くださっても、陣内の活動費には充てられません。今後は別紙「重要なお知らせ」にも記載した「陣内俊を支える会」振替口座に入金いただきますようお願いいたします。今後は2カ月に一度、2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）をお送りさせていただきます。（振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。振込くださるためにご利用ください。）また、ゆうちょ銀行に口座をお持ちの支援者様は、今後は郵便貯金口座から直接振り込んでくださることも可能です（手数料無料）。

- |             |   |
|-------------|---|
| ■ゆうちょ銀行口座番号 | 12110-9-1889141 名義：「陣内俊を支える会」                               |
| ■他行からの振込    | 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）店（089）預金種目：当座<br>口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」 |
| ■郵貯振替口座番号   | 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」                                |

尚、一部の皆様に毎月届けられていた「飢餓対策ニュース」同封の振込用紙に「陣内指定」と書きこんでも陣内の活動費には充てられません。同機関紙の購読を停止されたいという方は日本国際飢餓対策機構大阪事務所（072-920-2225／general@jifh.org）まで機関紙送付停止の旨をお伝えくださるようお願いいたします。

### 3 活動報告、及び会計報告について

「声なき者の友の輪」の活動および会計報告は、インターネット上（URL: <http://sites.google.com/site/fwinternational/>）で行わせていただきます。紙媒体の機関紙やメルマガ等を通しての報告も現在準備中です。これまで陣内の生活費、活動費の報告は日本国際飢餓対策機構の年次報告をもって変えさせていただいてきましたが、今後は「陣内俊を支える会」（プレイヤーライターに不定期掲載）および「声なき者の友の輪」の会計報告（インターネット上）にて報告させていただきます。

## 4 新団体「声なき者の友の輪」の活動をご支援くださりたい方

「声なき者の友の輪 Friends with the Voiceless International (F V I)」は、「砂漠のような社会、世界が森に」変革されるために、個人、教会、団体等が草の根の活動をしていくお手伝いをさせていただくことを願い、活動させていただく所存です。冒頭にも申しましたように、現在はまだ事務所もない状態ですが、今後ご支援くださる方には以下の口座をご利用くださいますようお願い申し上げます。

- ゆうちょ銀行口座 口座番号：10060-66746611 名義：「声なき者の友の輪」  
(他行からお振込の場合、店名：〇〇八 店番：008 種目：普通預金 口座番号：6674661 と御指定下さい)
- 三菱東京UFJ銀行立川支店 普通預金 口座番号：0110400 名義：「声なき者の友の輪」
- ゆうちょ振替口座 口座番号：00180-0-300201 名義：「F V I」

## 5 今後の活動について

冒頭文および別紙「重要なお知らせ」にも記載させていただいた通り、海外との協力関係も含めて今後の陣内の活動に基本的な方針転換はありません。これまで同様の働きを、異なる活動母体で行わせていただきます。皆様にしていただけるご支援と関わりは、以下のとおりです。

### 1 祈る、知る

皆様のお祈りは活動を支える最も重要な部分です。今後もブログ、プレイヤーレター、ホームページ等を通して報告させていただき活動を知っていただき、何卒お祈りをよろしくお願ひします。また具体的なアドバイスや励ましもお待ちしております。

### 2 経済的支援

これまで陣内の生活費および活動費の一部は、今後も皆様の尊いご支援によって満たされてきました。活動母体が変わりますが、今後も同様の形態での働きを願っています。振込口座は当面は「陣内俊を支える会」とさせていただきます(会計は支える会久米川が行います)。皆様のご支援によって可能になる働きです。共に神の国の貢献をさせていただき皆様には心より感謝いたします。

### 3 参加する

声なき者の友の輪を通してさせていただきこれからの働きに、1. 愛の筋トレや全人宣教の実践 2. セミナーを申し込む 3. 海外の働きを知り、支援する 4. 訓練リソースを利用するなどの方法で参加していただくことができます。「砂漠を森に」変革していくムーブメントに皆様のご参加をお待ちしております。(詳しくはホームページをご参照ください。)

- \* Prayer Letter の購読を停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は陣内までご連絡ください。
- \* 今回お知らせした事項について、不明な点やより詳細な情報をお求めの方は、Email にてお気軽に問い合わせさせていただきます。shunjinnai1128@yahoo.co.jp
- \* (陣内の活動ではなく) 日本国際飢餓対策機構の活動や方針については、大阪事務所に直接お問い合わせくださるようお願いいたします。(072-920-2225/general@jifh.org)